

平成 30 年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

事 業 報 告



☆基本方針

すべての住民が自分の住み慣れた地域で
自分らしく生き生きと豊かに暮らせる
ふれあい、助けあい、支えあいのある
住民主体の福祉コミュニティの実現

我が国は、人口減少・少子高齢化の問題の上に、生活困窮の問題や毎年のように発生する自然災害等が重層的に加わり、生活不安や地域生活の困難さを拡大している状況にあります。

こうした状況の下、総社市では平成 27 年 12 月に策定された「第 2 次総社市総合計画」において、「全国屈指の福祉文化先駆都市」を掲げ、「全国屈指福祉会議」を通じて様々な先駆的・進歩的な福祉施策に取り組み、我々、総社市社会福祉協議会においても、総社市の施策と連携し、深刻な福祉課題に対応するために、社会福祉法人としての使命を果たすべく組織体制の改革にも取り組みました。

また、昨年 7 月に発生した平成 30 年 7 月豪雨災害により、総社市でも甚大な被害を受けました。この災害支援のため、市の災害対策本部の要請により即座に災害ボランティアセンターを立上げ、中・高校生をはじめ全国のボランティアや様々な団体の支援を受け迅速で的確な復旧作業を展開することができました。この取り組みは、以前から取り組んできた災害ボランティア養成講座や高校生の社会貢献活動など、日頃からの地域福祉活動の成果が実証できました。

さらに、市内の社会福祉法人と協働して設立した総社市社会貢献活動推進協議会では、フードドライブやひきこもりの方へのボランティア体験活動の受入れ、生活困窮者への一時生活支援活動など制度の狭間の課題にも取り組み始めることが出来ました。

これらの他にも「全国屈指福祉会議」で重点施策として掲げられたひきこもり支援事業を、昨年度より本格的に取り組みました。相談支援やサポーターの養成、居場所の設置、家族会の結成、ひきこもり予防事業、就労支援事業などを積極的に取り組み、社会参加に繋がった当事者もありました。

このように全ての住民の豊かな暮らしを実現するために、「住民主体の地域福祉活動の推進」を担う中核的組織として、その使命と役割を十分に果たす取り組みを進めました。

本会はこうした状況の中、上記の基本方針に基づき、次の 5 つの基本活動を基盤に据え 住民主体の福祉コミュニティの実現（地域包括ケアシステムの構築）のため、諸事業を推進して参りました。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進
2. 当事者・当事者組織の支援活動の推進
3. ボランティア活動・市民活動（NPO）への支援・連携の推進
4. 相談・生活支援活動の推進
5. 介護予防事業、介護保険関連事業の充実・強化

さらに、地域福祉の推進のために、以下の6つの事業を重点に取り組みました。

☆重点事業

- (1) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- (2) 福祉委員活動の推進
- (3) ふれあいサロン活動の推進
- (4) ボランティアセンター事業の推進
- (5) ひきこもり支援の推進
- (6) 生活支援体制整備事業の実施

そして、このような事業を推進することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせるノーマライゼーションの実現をめざし、「総社市に住んでよかった」と市民から声が上がるとような地域福祉を推進しました。

平成30年度に実施した主な事業

1. 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会・幹部会・監査会の開催

- ① 理事会 年4回（5/31・9/26・1/30・3/11）開催
- ② 評議員会 年3回（6/19・10/4・3/27）開催
- ③ 監査会 年1回（5/25）開催
- ④ 評議員選任・解任委員会 年1回（5/31）開催

(2) 役員及び職員の研修

① 役員研修

役員のみを対象とした集合研修や移動研修などは実施できていないが、市や社協が実施する講演会等へ積極的に参加いただいた。

② 職員研修

平成30年7月豪雨災害に伴う、復旧・復興業務のため体系的な実施は出来なかったが、災害支援を振り返り今後の支援の在り方を検討するため、研修と位置づけ、グループワークなどを実施した。また、県社会福祉協議会及び全国社会福祉協議会が実施する各専門領域の研修会へ参加した。

(3) 社会福祉関係機関、団体との連携

団体の活動費を助成するとともに活動を支援した。

団体名	合計
総社地区保護司会	139,000円
遺族連合会	272,000円
総社地区更生保護女性会	67,000円
原爆被爆者総社友の会	50,000円
身体障がい者福祉協会	443,000円
手をつなぐ親の会	113,000円
山手セロリ青葉会（手をつなぐ親の会）	38,000円
ひとり暮らしの会	164,000円
介護者の会	158,000円
あゆみ家族の会（精神障害者家族の会）	37,000円
市保育協議会	28,000円
母子寡婦福祉連合会	193,000円
民生委員児童委員協議会	107,000円
ボランティア連絡協議会	250,000円
作業所利用同好会（清音）	31,000円
計	2,090,000円

(4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化

厳しい社会情勢の中、自主財源確保のため、随時会費説明会を行い、各地区社協の協力を得て会員の増強に努めた。

- ・会費総額 14,559,700円（昨年度から27,200円増）
- ・加入率 56.6%（前年度 57.8%）

地区名	H30			H29	
	件数	金額	加入率	件数	金額
総社	4,667件	3,801,400円	54.2%	4,572件	3,712,100円
常盤	1,976件	1,819,500円	32.3%	2,057件	1,764,300円
池田	378件	382,500円	70.8%	383件	382,000円
清音	1,653件	1,677,500円	74.4%	1,636件	1,666,500円
三須	853件	869,500円	75.6%	854件	870,500円
服部	604件	653,000円	70.2%	591件	640,000円
阿曾	713件	717,000円	68.2%	722件	726,000円
山手	1,004件	1,004,000円	57.6%	972件	973,000円
秦	573件	608,000円	78.6%	573件	609,000円
神在	411件	419,000円	59.5%	524件	561,000円
久代	825件	702,800円	64.2%	778件	650,100円
山田	210件	211,000円	76.4%	212件	213,000円
新本	417件	432,500円	73.9%	421件	429,000円
昭和	938件	949,000円	68.6%	1,019件	1,030,000円
事務局	146件	313,000円		92件	306,000円
計	15,368件	14,559,700円	56.6%	15,406件	14,532,500円

(5) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究

① ふれあいサロンアンケート調査

ふれあいサロン（208か所）の代表者及び参加者を対象に、サロン開催及び参加の有意性について調査を実施。今後もサロン活動を継続し、より一層の充実を図れるよう報告書を作成した。調査した内容については、ふれあいサロン交流会等で報告した。

(6) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新

① 「みんなのちいきふくし」の発行（年4回（1回あたり25, 700部）発行）

【54号】（6月）

特集：ひきこもり支援センター「ワンタッチ」
地域ニュースfrom地区社協（秦・久代・清音）
法律ミニ講座の開催・フードドライブ実施報告・ふくしネットそうじゃ・
平成30年度事業計画・予算 など

【55号】（9月）

特集：平成30年7月豪雨災害におけるボランティア活動参加へのお礼・
災害ボランティアセンターの活動状況・赤い羽根共同募金運動 など

【56号】（12月）

特集：復興支援センター活動状況
地域ニュースfrom地区社協（常盤・神在・山田）

こども食堂の取り組み・ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」設立・ひきこもりサポーター「ほっとも」の会の活動状況・成年後見セミナーの開催・ハートフルそうじゃ など

【57号】（3月）

特集：福祉の支え合いフォーラムin総社2018
地域ニュースfrom地区社協（総社・阿曾・昭和）
ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の活動状況・復興支援センターの活動状況・表彰（福祉部門）・丸紅福祉財団地域福祉車両贈呈式・介護予防生活支援サポーター養成講座の開催について など

② ホームページの更新

- ・明るく見やすいホームページに更新
- ・ホームページアドレス <http://www.sojasyakyo.or.jp/>
- ・SNS（facebook、Twitter等）の活用

（7）民生委員互助共励事業の実施

- ① 退任慰労 1件
- ② 火災見舞 1件
- ③ その他 1件

（8）職員体制の状況（3月31日現在）

① 係体制

・事務局長	1人（正規 1人）
・事務局次長	1人（正規 1人）
・総務係	7人（正規 3人・嘱託 1人・臨時 3人）
・地域福祉係	9人（正規 6人・嘱託 1人・臨時 2人）
・復興支援係	3人（正規 2人・嘱託 1人）
・障がい支援係	9人（正規 6人・臨時 3人）
・権利擁護係	11人（正規 6人・嘱託 2人・臨時 3人）
・在宅福祉係	21人（正規16人・嘱託 4人・臨時 1人）
職員合計	62人（正規41人・嘱託12人・臨時 9人）

② 資格取得状況

（国家資格）

・社会福祉士	21人
・精神保健福祉士	7人
・介護福祉士	18人
・保健師	2人
・看護師	3人

（認定資格）

・臨床心理士	2人
・介護支援専門員	20人
・相談支援専門員	17人

※ 重複あり延数

③ 年齢構成（正規職員のみ）

・20歳代	7人（事務局	7人・事業所	0人）
・30歳代	7人（事務局	5人・事業所	2人）
・40歳代	17人（事務局	11人・事業所	6人）
・50歳代	9人（事務局	2人・事業所	7人）
・60歳代	1人（事務局	1人・事業所	0人）

2. 地域福祉活動計画

① 第2次地域福祉活動計画の策定

本会で実施する事業の多くは、総社市で策定の「第2次総社市総合計画」（平成30年度改訂版）「岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～」及び全国屈指福祉会議を尊重し推進しています。このことから、これらでの検討結果をふまえて、当面は地域福祉活動計画の策定を見合わせ、総社市と一体的に事業を進めていくこととしています。

3. 地域福祉活動事業

(1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進

- ① 地区社協会長会議の開催 年4回開催
- ・第1回地区社協会長会議（4/17）
報告事項（平成30年度敬老会行事について・社協会費配分について、地区給食サービス補助金について、寄付金配分について共同募金配分について、各提出書類について）
協議事項（高校生社会貢献活動について）
 - ・第2回地区社協会長会議（7/31）
報告事項（平成29年度 総社市社会福祉協議会事業報告について・災害支援の状況について・平成29年度 各地区社協の取り組みについて・平成30年度 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催について・平成30年度 ボランティア養成講座（基礎講座・専門講座）・平成30年度 赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について）
協議事項（平成30年度 赤い羽根共同募金事業について ポスターコンクールについて・赤い羽根共同募金運動推進会議の開催日程）
 - ・第3回地区社協会長会議（10/31）
報告事項（災害復興支援の現状について・赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールについて）
協議事項（地区社協役員等研修会について）
 - ・第4回地区社協会長会議（3/19）
協議・報告事項（総社市復興支援センターの活動状況について・平成30年7月豪雨災害義援金及び支援金の活用について・平成31年度 赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について・平成30年度 地区社協役員等研修会の開催について・平成31年度 総社市社会福祉協議会事業計画（案）について・平成31年度 福祉委員委嘱式の開催について・総社市消費生活センターと地区社協との連携啓発活動について）

② 福祉のまちづくり座談会の開催

平成30年6月～8月頃に開催を予定していたが、平成30年7月豪雨の影響もあり、実施できていない。

③ 小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携

様々な地域課題を協議している小地域ケア会議との関係を密にし、地区社協として対応の可能性が見いだせる課題については、地区社協で取組みを協議する。また、平成30年度より公募方式による共同募金からの助成の「赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業」（90万円）にも積極的に取り組んだ。

「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」

地区	事業名	事業概要
総社	生活支援サービスに関する活動	高齢者など必要とされる方に、暮らしに役立つ情報や生活に関する社会資源情報などを掲載した生活支援ガイドブック（仮）を作成・配布する。
常盤	常盤地区防災訓練	救急法、AED 使用、防災講話、炊き出し訓練を実施し、防災の意識向上・啓発を図る。

池田	福祉学習	<ul style="list-style-type: none"> 従来の対象「75歳以上の一人暮らし高齢者」に加えて、「80歳以上の高齢者のみ世帯」も配食の対象とする。 池田小の児童に、地区社協の活動を伝える機会をもつ（福祉学習）。 地区給食の調理や配食を体験してもらい、年に1回、高齢者と一緒にお弁当を食べる交流会を開催する。
清音	あつまれ！きよね みんなの広場	<ul style="list-style-type: none"> 福祉作文・ポスターコンクールの表彰式。 きよね認定こども園、放課後児童クラブ「ランドセル」によるステージ発表。 こども広場と遊びの広場などを行い、清音地区の多世代が交流できる場とする。
三須	第21回ふれあい文化まつり	<ul style="list-style-type: none"> イベントコーナーの開設（甘酒・おしるこ・バザー・うどん・園児 幼児ふれあいコーナー、お楽しみ抽選会等） グラウンドゴルフ大会
服部	高齢者と園児の交流	<ul style="list-style-type: none"> 地区給食のお弁当に、服部幼稚園児が作成した絵入りラベルで包装する。 地区給食サービス事業を通じて、高齢者と園児のふれあい世代交流の企画。 天ぷら用の鍋を購入し、高齢者に天ぷらを提供する。
阿曾	阿曾安心ガイドの作成	阿曾地区の高齢者が自分たちの住む地域行事や居場所を分かりやすく把握できることにより、外出を行う動機づけへとつながるようなガイドブックの作成を目指す。
山手	やまてなかよしウォーキング	小学6年生までの児童と保護者を対象に、なかよしウォーキングを実施する。
神在	歳末見守り活動	歳末の見舞いを80歳以上の高齢者180名を対象（被災者含む）に民生委員・児童委員及び福祉委員で各戸を訪問した。
久代	久代地区3世代ふれあいまつり	対象：久代地区在住・在勤・出身者及びその縁者、友人等 人数：約150名 内容：栄養委員、愛育委員などと連携し、子どもから高齢者まで幅広く参加できる食育・健康増進イベント
山田	山田べんりーなにおける高齢者支援	古民家を再生し、地区民の居場所として提供する。（NPO法人「古民家を活用する会」と協働） 同会場を山田サロンとして定期的に利用する。（対象者約150名）
新本	西の吉備路探訪健康ウォーキング新本	対象：新本地区住民 人数：約100名
昭和	昭和夢番地「夢のいち」	対象：昭和地区住民 人数：約100～130名 内容：地域の特産品やサロン等で作成した手作り作品を展示・安価で販売し、相互の交流や子どもから高齢者まで、みんなが集えるような機会を提供する。

- ④ 地区担当制による地区社協活動の運営補助・相談業務
担当地区のサロンや行事、様々な場を訪問し、地域との関係構築を図った。

⑤ 地区給食サービスのメニューの見直し

管理栄養士による高齢者向けのメニュー表を作成し、各地区へ地区給食サービスのメニュー表を提供しているが、見直しは出来ていない。

⑥ 地区給食サービス研修会

地区給食サービス事業に関わるボランティアを対象に、食品や食器の取り扱いなど衛生管理に関する研修会を開催した。

⑦ 地区社協だよりの発行

地域住民に地区社協の事業報告や社協会費の使途、決算・監査報告などを目的に地区社協毎に年1～2回程度発行した。

⑧ 地区社協紹介パンフレットの作成

作成できていない。

⑨ 地区社協役職員等研修会の開催

日 時：平成31年2月4日（月）13：30～15：30

会 場：総社市総合福祉センター 3階大会議室

対象者：地区社協会長・副会長・事務長・会計・書記等

役員市役所・地域包括支援センター・市社協などの職員（55名参加）

テーマ：「あらためて地区社協活動の役割について考える ～地区座談会の開催に向けて～」

講 師：美作大学 社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔 氏

（2）民生委員・児童委員活動との連携

地域福祉の増進を目的（民生委員法第1条）として、地域で活躍する民生委員・児童委員との連携を図り、地域福祉を推進した。

- ・市民生委員・児童委員協議会定例会への参加
- ・地区民生委員・児童委員協議会定例会への参加
- ・福祉委員との合同研修の実施

（3）福祉委員活動の推進

① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進

586人（46世帯に1人の配置）

② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援

- ・福祉委員協議会

総会 1回（6/15）開催

役員会 7回（5/23・10/9・10/30・11/26・12/25・1/31・3/13）開催

役員等研修会

日時：平成31年3月4日（月）13：30～15：00

場所：総社市総合福祉センター 3階 大会議室

内容：『認知症の方への支援について』

総会、地区福祉委員会、民生委員・児童委員との合同研修会の開催

小地域ケア会議や地区社協活動への参画 など

③ 研修会（民生委員合同・初任者等）の実施

【民生委員との合同研修】

地区	実施日	内 容
総社	10/9	講演『正しい運動の仕方と食事のとり方』
池田	11/29	視察『笠岡市認知症介護研修センター』
常盤	12/13	『民生委員・児童委員及び福祉委員の交流会』
清音	3/2	講演『総社市の災害状況と防災知識の向上に向けて』
三須	3/11	講演『これからの地区社会福祉活動について』
山手	2/27	視察『国立療養所 長島愛生園』
服部	2/21	視察『社会福祉法人 浦安荘』
阿曾	3/6	視察『国立療養所 長島愛生園』
秦	5/30	視察『結いのさと 愛家里』
神在	3/12	講演『認知症事例と事例を通して感じること』
久代	2/27	視察『備前市三石出張所』
山田	12/4	講演『見守りに関する研修』
新本	8/11	講演『食中毒予防について』
昭和	3/8	講演『いま、求められる地域福祉活動について』

【福祉委員フォーラムの開催】

『福祉の支えあいフォーラムin総社2018 ～福祉委員活動から広がる地域の輪！～』

日 時：平成30年12月2日（日）13：00～16：00

場 所：総社市総合文化センター（市民会館）

内 容：基調講演『みんなで創る地域の支えあいについて』

講師 厚生労働省 社会・援護局

社会福祉専門官 添田 正揮 氏

実践報告『総社市を元気にする支えあい活動』

報告者

ときわにここ食堂 河田 八千代 氏

服部地区福祉委員会 坂根 美喜子 氏

久代地区福祉委員会 長谷川須美代 氏

なっちゃん市 前田 千絵子 氏

夢のいち 池上 千恵子 氏

コーディネーター 総社市社会福祉協議会 事務局長 佐野 裕二

コメンテーター 添田 正揮 氏

参加者：803人

その他：ロビーにて福祉委員活動及びサロン活動の紹介展示コーナーを設置

④ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行

福祉委員へ福祉情報や福祉委員活動の実践等、情報提供を行うことで、福祉委員活動の周知や意識高揚を図り、今後の福祉委員活動に活かすことを目的に作成。

- ・第13号（11月）・第14号（3月）
- ・編集委員会の開催

(4) ふれあいサロン事業の推進

① ふれあいサロンアンケートの実施

これまでのふれあいサロン活動で得られた効果、抱えている課題を明確にするとともに、今後のふれあいサロン活動をさらに充実したものにするために実施した。

- 調査対象

総社市社会福祉協議会に申請している高齢者を対象としたふれあいサロン（208か所）の代表者および参加者

- 調査期間

平成30年3月1日～平成30年5月30日

- 調査方法

総社市内の高齢者を対象としたふれあいサロンを通じて、その代表者及び参加者別の調査用紙を配布し無記名方式によりアンケート調査を実施

- 回収方法

各ふれあいサロンごとにサロン代表者が取りまとめをしていただき、同封している返信用封筒で返送、または総社市社会福祉協議会（本所、清音事務所、山手事務所）に直接提出してもらう

- 回答率

代表者：157人／208人（回答率：75.4%）

参加者：1,446人／2,080人（回答率：69.5%）の計1,603人から回答を得た

- 回答者の平均年齢

ふれあいサロン代表者

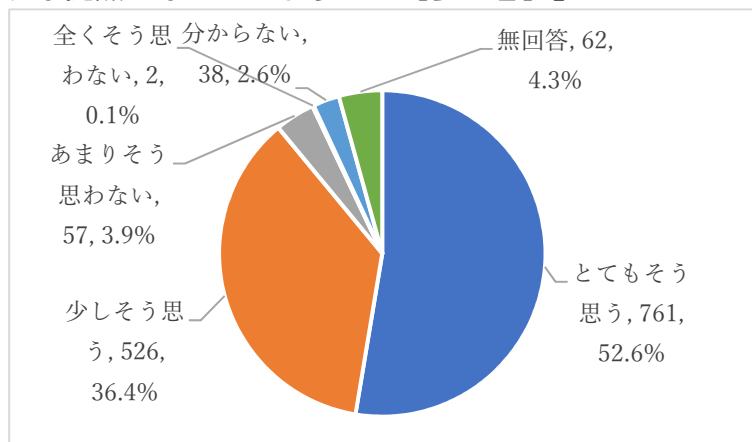
65.19歳

ふれあいサロン参加者（ボランティア含む）

71.17歳

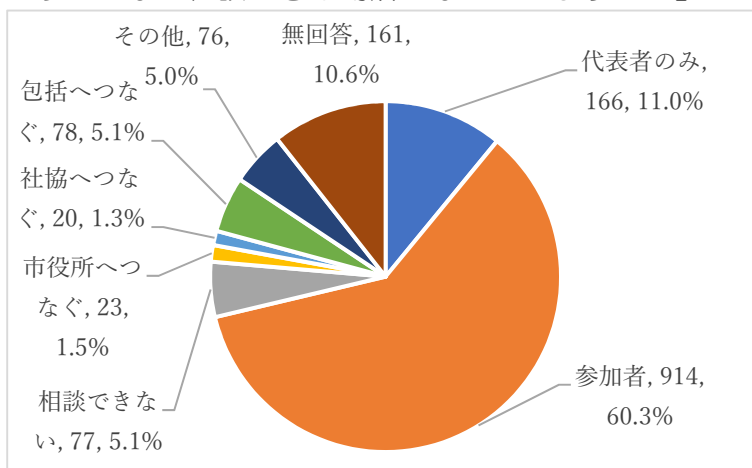
- 調査結果「地域の中での大切な拠点になっていますか？【参加者】」

- 全体の89%が地域の大切な拠点だと実感
- その日1日が楽しく過ごせる
- ふれあいサロンといえば「楽しいところへ行く」という感じ



- 調査結果「気になることや困りごとなど相談できる場所になっていますか？」

- 「ストレス発散（色々な悩み事や思っていることをおしゃべりできる）」
- 「心の支えでもある」「相談役（話し相手）」



- ② ふれあいサロン活動助成金の交付
- ・申請 222か所
 - ・助成 220か所（総額4,718,000円）

③ 新規ふれあいサロンへの立ち上げ相談、運営支援

	設置数	新規設置数	延開催回数	延参加者数
高齢者	210か所	5か所	2,848回	35,897人
障がい者	3か所	0か所	35回	347人
子育て	9か所	0か所	109回	1,443人
合計	222か所	5か所	2,992回	37,687人

- ・ふれあいサロン備品の整備と貸出
- ・ふれあいサロンへの職員の訪問・取材・相談
- ・様々な分野の講師・指導者の派遣調整
- ・ふれあいサロンの情報提供（一覧、広報紙）

④ 各サロンへ訪問

- ・ふれあいサロン活動の状況把握、相談支援、情報交換や情報提供、備品の説明。

⑤ ふれあいサロン交流会の開催

- ・内容：ふれあいサロンアンケート調査の報告、貸出し備品体験会
- ・各圏域会場にて開催。（西部・北部、東部、中央北、中央南）
- 参加者数：137サロン 255人

(5) ボランティアセンター事業の実施

① ボランティア（グループ、個人）活動の支援

- ・ボランティア登録（72グループ（2,331人）、個人3人）

② ボランティア活動のコーディネート

- ・47件

③ ボランティアの養成及び活動の推進・支援

④ ボランティア養成講座の開催

対象者：市内在住の方

市内でボランティア活動に取り組みたい方

参加者：150名

内 容：基礎講座（全2回）

専門講座

- ・朗読ボランティア講座
- ・点訳ボランティア講座
- ・障がい者ふれあいボランティア講座
- ・災害ボランティア講座
- ・福祉レクリエーション講座

⑤ 「夏のボランティア体験事業」の実施

- ・市内の中学生・高校生257人参加
- ・51事業所で活動
- ・事前・事後研修会の実施

- ⑥ ジュニアボランティア養成講座の開催
平成30年7月豪雨により中止

- ⑦ ボランティア連絡協議会の支援
 - ・13団体、179人
 - ・総会・交流集会・視察研修・役員会の実施

(6) 災害ボランティアセンター事業

① 災害ボランティアセンターの運営

平成30年7月豪雨災害の際には、市の災害対策本部の要請により即座に災害ボランティアセンターを立上げ、高校生をはじめ市内民間団体、全国のボランティアの支援を受け迅速で的確な復旧作業を展開することができた。

この取り組みは、以前から取り組んできた災害ボランティア養成講座や高校生の社会貢献活動などの地道な活動が功を奏したものであり、日頃からの地域福祉活動の成果を実証したものである。

- ・期間：平成30年7月8日～平成30年9月30日（平成30年10月1日から復興支援センター設置）
- ・ボランティア活動延数：15,231人
- ・ニーズ対応数：418件
- ・応援社協27社協等357人
- ・組織体制

○ボランティア部門

- ・ボランティア受付班
- ・ニーズ把握班
- ・マッチング班
- ・サテライトを設置（6ヶ所）

○要配慮者対応部門

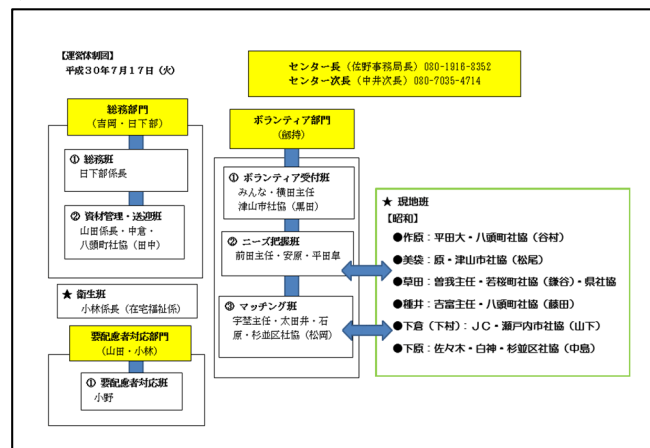
- ・避難所の状況確認
- ・保健師と要支援者の情報共有
- ・個別ケース対応
- ・災害支援地域対策会議）
- ・ゆめ風基金に見舞金の申請（58件）

○総務部門

- ・情報発信（HP, FB, Tw）
- ・義援金、支援金の受付
- ・高速道路無料措置の手続き
- ・資材、送迎班

○サテライト（最大6ヶ所：作原、美袋、草田、種井、下村、下原）

- ・社協職員をサテライトに配置
- ・市役所出張所と協働
- ・地区社協、自主防災組織、民生委員の協力
- ・多くのボランティアをサテライトに派遣
- ・現地でニーズを把握し、細かい支援



(7) 福祉教育の推進

① 社会福祉学習支援事業の実施

・実施件数：小学校12件、中学校1件、地域団体1件

No	実施	内容
1	総社中央小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験・白杖体験・地域との交流 ・障がい者の暮らしについて・認知症サポーター養成講座
2	総社小学校	・導入の授業・盲導犬ユーザーによる授業 ・高齢者疑似体験・車いす体験・福祉学習発表会
3	常盤小学校	・導入の授業・車いす白杖体験・福祉学習発表会
4	池田小学校	・導入の授業・車いす白杖体験
5	清音小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験・ふれあいサロンでの交流 ・デイサービスでの交流・「共に生きる」交流会
6	山手小学校	・導入の授業・盲導犬ユーザーによる授業 ・車いす、白杖体験・まとめ発表会
7	阿曾小学校	・導入の授業・認知症サポーター養成講座 ・高齢者疑似体験・車いす体験
8	総社東小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験、高齢者疑似体験 ・福祉学習発表会
9	秦小学校	・総社市総合福祉センター見学・高齢者疑似体験
10	総社西小学校	・認知症サポーター養成講座
11	新本小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・盲導犬ユーザーによる授業・高齢者疑似体験 ・ふれあいサロンでの交流・福祉学習発表会
12	昭和小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・福祉学習発表会 ・ボランティアグループ点訳の会による点字体験
13	総社中学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・障がい者の暮らしについて
14	昭和地区社協	・導入の授業・高齢者について・高齢者疑似体験 ・ふれあいサロンについて・地域の方とのふれあい

② 福祉学習メニュー表の作成

実践可能な講座を取りまとめたメニュー表を作成し、多様な福祉学習の実施につながるよう努めた。

③ 県立高校社会貢献活動との連携

南高：延98人 総高：延27人

	活動先	内容	学校	人数
総社	ふれあいサロン川崎	高齢者とのふれあい	南高	延25人
池田	三世代交流ふれあいウォーキング	ウォーキングの見守り、昼食配膳、片付け	南高 総高	2人 5人
	池田地区子育て交流会	小学生や幼稚園児などとのふれあい、見守り	南高 総高	6人 3人
清音	さんあいの家サロン	お飾りづくりの手伝い	南高	6人
	集まれ！ きよねみんなの広場	参加者とのふれあい	南高	4人

神在	交流の場づくり “秋は集まろう会”	高齢者とのふれあい、受付、 誘導、飲み物の配布	南高	10人 3人
秦	ふれあいサロンまつり	会場準備	南高 総高	2人 1人
久代	久代地区 三世代ふれあいまつり	準備、児童、高齢とのふれ あい、補助	南高 総高	10人 10人
新本	西の吉備路探訪 健康ウォーキング in 新本	ウォーキングの補助、高齢 者、子どもの見守り	南高 総高	3人 2人
	手打ち蕎麦による年末慰問	そば打ち作業と配達	南高	6人
昭和	昭和地区敬老会	受付、記念品の手渡し	南高 総高	4人 6人
	ふるさと探訪ウォーキング In富山	子どもたちの見守り	南高	5人
その他	kids' Halloween Party in リブ (英PLAY)	おやつ配りの手伝い 子どもたちの誘導や補導	南高	15人

④ 平成30年度福祉教育セミナーの開催

目的：「福祉」「教育」「地域」の三者が「福祉教育」の目的や意義を理解し、より良い福祉教育の実践を模索し、今後の福祉教育・地域福祉活動につなげる。

日時：平成31年2月15日（金）14：00～16：30

対象：小学校、中学校、高校、大学の教職員、福祉教育関係者、ボランティア、地区社協関係者など福祉教育に関心のある方

基調講演：「学校と地域の“ちから”ですすめる福祉教育について」

新見公立短期大学 教授 山本 浩史 氏

実践発表：昭和地区社会福祉協議会 池上千恵子 氏 入江千寿子 氏

総社市立阿曾小学校 指導教諭 仲村慎二郎 氏

総社市立総社中学校 教諭 杉本 博俊 氏

参加者：57人

(8) 生活福祉資金等の貸付

① 生活福祉資金の貸付

- 貸付件数 0件
- 相談件数 87件

② 緊急援護資金の貸付

	H30	H29	H28	H27	H26	H25
相談件数	115件	221件	48件	62件	56件 (下半期)	112件
貸付件数	34件	32件	31件	51件	74件	58件
うち生活保 護世帯	19件	17件	13件	18件	24件	34件
	55.9%	53.1%	43.3%	35.3%	32.4%	58.6%
償還率	94.1%	81.3%	73.3%	86.3%	75.7%	72.4%

(9) 生活支援サービスの実施（総社市生活支援サービス検討委員会）

① 生活支援サービス検討委員会の開催（第1層協議体）

総社市における生活支援・介護予防サービスの体制整備をめざして、多様な活動関係間との ①情報共有 ②連携・協働 ③資源開発を推進するために設置。

【第1回】（2月19日）

- ・現在までの主な事業実施について
 - ・圏域地域包括ケア会議の取り組み状況
 - ・地域づくり研修会（VR認知症体験会）
 - ・（共催）福祉の支えあいフォーラムin総社2018
～福祉委員活動から広がる地域の輪！～
 - ・にここサポート事業の取り組み状況
- ・各部会からの報告について
 - 【給食サービス検討部会（試食会の開催）】
 - ・開催単位：概ね圏域単位（予定）
 - ・対象：民生委員・児童委員、福祉委員、福祉専門職等

② 生活支援サービス検討委員会検討部会の開催（第1層協議体専門部会）

- ・「第1回 生活の支え合い活動検討部会」【1月24日（木）】
- ・「第1回 給食サービス検討部会」【2月5日（火）】
- ・「第1回 地域の担い手・居場所づくり検討部会」【2月14日（木）】
- ・「第1回 移動・買い物支援検討部会」【2月18日（月）】
- ・高齢者の生活支援を考える意見交換会【2月22日（金）】
- ・昭和地区生活支援サービス検討会議【9月7日（金）】
- ・昭和地区（水内 影地区）給食・買い物体験会【9月19日（水）】

③ 圏域地域包括ケア会議の開催（第2層協議体）

- ・多様な関係者主体の定期的な情報共有及び連携、協働による取組を推進する。
- ・地域性のある生活支援サービスのニーズを集約する場。
- ・総社市における地域包括ケアシステムを実現する三層構造の位置付け
（小地域ケア会議→圏域地域包括ケア会議→地域包括ケア会議）

【第1回】

中央部北（総社・池田）	5月30日（火）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	5月29日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	5月25日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	5月28日（月）	久代分館
北部（昭和）	5月30日（水）	縁（えにし）

【第2回】

中央部北（総社・池田）	9月26日（水）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	9月25日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	9月27日（木）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	9月25日（月）	西公民館
北部（昭和）	10月 3日（水）	下倉分館

【第3回】

中央部北（総社・池田）	1月28日（月）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	1月29日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	1月25日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	1月28日（月）	久代分館
北部（昭和）	1月30日（水）	昭和公民館

(10) 生活支援サービスの実施（地域の支え合いフォーラム）

- ① 『福祉の支えあいフォーラムin総社2018
～福祉委員活動から広がる地域の輪！～』
【福祉委員協議会との共催】
日 時：平成30年12月2日（日）13：00～16：00
場 所：総社市総合文化センター（市民会館）
参加者：803人

(11) 生活支援サービスの実施（生活支援にここにサポート事業）

- ① 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催【担い手の養成】
「誰もが安心して豊かに暮らせる」ふれあい・助けあい・支えあいのある住民主体の福祉のまちづくりの実現に向けて、高齢者等の日常生活における「生活の困りごと」を支える応援団（生活支援サポーター）を養成し、お互いに支え合う活動を通じて、
（ふ）普段の（く）暮らしの（し）幸せを創出することを目的に開催。

日 程	内 容
2月27日（水） 9：30～11：30	開講式・講義 ①「超高齢社会を乗り切るために！」 ～介護保険制度と総社市の取り組みについて～ ②「誰もが安心して豊かに暮らせる地域をめざして！」 ～お互いさまの支え合いについて考える！～
18人参加	
3月5日（火） 10：00～12：00	講義 ①「高齢者の日常生活を支える取り組みについて」 ②「そうじゃ60歳からの人生設計所について」
22人参加	
3月12日（火） 10：00～12：00	講義・実技 ①「地域で取り組む介護予防について考える」 ～いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操から学ぶ～ ②「地域で取り組む居場所について考える」 ～ふれあいサロン活動から学ぶ～
19人参加	
3月19日（火） 10：00～12：00	講義・実技 ～他者との関わり～ ①「生活支援にここにサポート事業について」 ～ここにサポートの活動を知る～ ②「コミュニケーションのコツを学ぼう」
22人参加	
3月27日（水） 10：30～12：30	講義・演習（グループワーク） ①「市内に広がる支えあい活動の実践から学ぶ」 ②「私たちの地域について語り合おう！」
22人参加	
3月27日（水） 13：30～15：30	講義・演習（グループワーク） ①「地域住民の支え合い！今、地域に求められること！」 講師：美作大学 小坂田 稔 先生 ②「今！私たちにできることを考えよう！」
21人参加	

- ・受講者数：28人 ・修了者数：24人

② 生活支援「にここにサポート事業」

平成29年4月から「総社市生活支援にここにサポート事業」始動

- 担い手：「にここにサポーター」（登録者数 132人）

※H30 養成講座修了者から新規登録者数 12人

- 対象者：①要支援者（介護保険認定区分が要支援1・2の方）

②基本チェックリストにより判定し該当になった方

●利用料金：①1時間まで 500円 ②30分まで 300円

●利用時間：午前8時～午後5時（月曜日～金曜日）

※利用時間は、原則、1時間単位を基本（要相談）

※年末年始（12/29から1/3）、土日、祝日は除く

●サポート内容：掃除、簡単な家事、買い物、外出時の付き添い、介護予防・自立生活を支えるために必要とされるサポートの内容

◆実績：①利用者数：42人（男性4人／女性38人）

（要支援1：14人、要支援2：16人、事業対象者：12人）

②サポーター活動者数：（実）58人／（延）82人

③サポーター活動件数：1,207件

③ 生活支援サポーター連絡会の開催

生活支援サポート事業の充実（仕組みづくり）をめざして、サポーター登録者相互の連携と協調を図ること、研修や情報交換を目的に定期的な連絡会を開催。

	日程	内容	参加
連絡会	12月21日（金） 14:00～16:00	・7月豪雨災害の状況について ・にこにこサポート事業の進捗状況について ・活動マニュアルの確認について	58人

（12）地域づくり研修会（VR認知症体験会）の実施（新規）

① 認知症への理解を深める研修会の開催

・日時：平成30年11月16日（金）

・場所：清音福祉センター2階ホール

・内容：VR（バーチャル・リアリティ）の技術（VRマスクから見える動画など）を用いた疑似体験型によって、「認知症を体験」し、認知症のある方への理解を深めることで地域づくりを考える。

・参加者：100人

（13）復興支援事業（新規）

① 復興支援センター事業の推進

・被災者の生活状況の把握と基盤づくり

被災者の生活状況について、戸別訪問等により現状を把握することに努めるとともに、コミュニティづくりの基盤を整備する。

・被災者の見守り・相談支援

仮設住宅に入居する被災者等が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、関係機関と連携して、孤立防止等のための見守りや日常生活上の相談支援・生活支援・住民同士の交流の機会の提供等を実施する。

・被災者・関係者の要請によるボランティアの派遣

被災者や要配慮者等の要請により必要なボランティアの派遣を実施する。

② 職員体制

10/1 より復興支援係を新たに設置し、上記の事業を実施している。

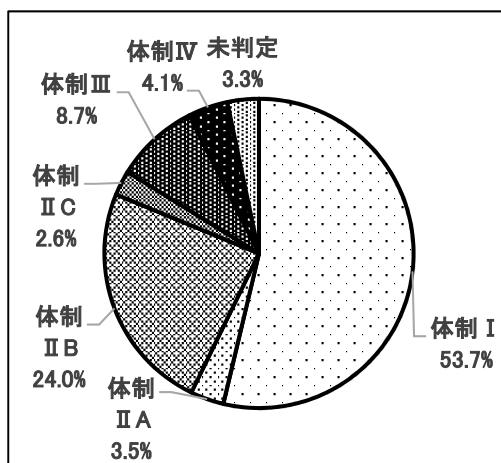
- ・復興支援センター長（社会福祉士：専任） 1名
- ・生活支援相談員（社会福祉士等の有資格者：専任） 1名
- ・生活支援相談員（ // : 地域福祉係兼務）2名
- ・生活支援相談員（補助職員） 1名

③ 見守り体制基準

- ・体制Ⅰ 生活再建可能世帯（1回/3カ月）
- ・体制ⅡA 日常生活支援世帯（通常の見守り：1回/3カ月）
- ・体制ⅡB 日常生活支援世帯（定期的な見守り：1回/月）
- ・体制ⅡC 日常生活支援世帯（重点的な見守り：4回/月）
- ・体制Ⅲ 住まい再建世帯（1回/3カ月）
- ・体制Ⅳ 日常生活・住まいの再建世帯（2回/月）

④ 訪問実績（建設型仮設・借上型仮設・在宅）

	下原	昭和	その他	計
体制Ⅰ	73	147	26	246
体制ⅡA	0	16	0	16
体制ⅡB	37	47	26	110
体制ⅡC	3	8	1	12
体制Ⅲ	13	22	5	40
体制Ⅳ	6	10	3	19
未判定	4	6	5	15
計	136	256	66	458



(14) 社会福祉法人との連携事業

平成29年7月1日、社会福祉法第24条第2項に規定される「地域における公益的な取組」を協働して行うことを目指して、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（愛称：ふくしネットそうじゃ）が設立しました。総社市内に拠点のある社会福祉法人（20法人）に呼びかけ、19法人が加入し、活動を展開されました。

スキーム福祉の会	金曜会	雪舟福祉会
やさい畑クムレ	超寿会	吉備のくに福祉会
梁善会	あのね保育園	新生寿会
真美会	経山会	進和福祉会
吉備路の会	すずらん保育園	総社市社会福祉事業団
総社福祉会	ももその学園	総社市社会福祉協議会
千寿福祉会		

⑧ 新たな取り組み応援事業の実施

市内で先駆的かつ公益的な取り組みで、公的助成が見込めない団体に対し、必要経費の一部を助成する活動。

実績：0件

⑨ ひきこもり調査の実施

ひきこもりを社会全体の共通課題であると認識し、実務の中で可能な限りその実態把握や状態像の調査を行う活動。

実施方法：法人内の業務で関わる利用者家族などで、総社市の「ひきこもり」の定義に該当する方があれば、「ひきこもり調情報提供カード」に記載し、提出する。

実施期間：平成30年4月～平成31年3月

実績：0件

4. 子育て支援事業

(1) 子育てサロン事業の支援

- 子育てサロンへの相談支援（9か所）
- 子育てサロン交流会の開催、参加者3人
- 活動助成金の交付
- 備品の貸し出し

(2) 地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

- 地区社会福祉協議会と連携して地域密着型の子どもまつりの開催
- 多世代交流事業としても開催

地区	日程	参加人数	行事名	内容
山手	6/14	125人	やまてちびっこまつり	対象者：就園前の乳幼児と保護者 山手地区の子育てにかかわる団体・グループ総出で楽しいステージ、手作りおもちゃ、シャボン玉、ボールハウス等
服部	8/25	56人	夏休みお楽しみ会	対象者：小学生、幼児、保護者、ボランティア カレー、フルーツポンチ作り、大学生、高校生と交流遊び、昼食、紙芝居
総社	9/25	44人	総社北ゆうあい児童クラブ グラウンドゴルフ大会	対象者：児童、支援員、ボランティア、総社市地区社協委員 グラウンドゴルフでの交流
久代	11/2	32人	久代幼稚園児とのふれあい	対象者：幼稚園児、地区社協、民生委員児童委員 紙芝居（三匹のこぶた）、野菜ダンス、子ども相撲、遊具でのふれあい（屋外）
池田	10/28	41人	池田地区「子育て交流会」（第2回）	対象者：未就学児、幼稚園、小学生 ドッジビー他各種ゲーム及びビンゴゲーム
三須	11/11	約320人	第21回ふれあい文化まつり 園児・幼児ふれあい広場	対象者：乳幼児、地域の方（三世代交流） 幼児ふれあい広場（魚釣り、作品展示、遊戯発表）
総社	11/30	123人	総社西地区中央小学校との交流会	対象者：児童、ふれあいサロン参加者、民生委員・児童委員、福祉委員、社協、包括、のんびり笑家 肩たたき、百歳体操、折り紙、室内ゲーム等を行い交流を深めた児童から合唱発表
清音	10/20	約150人	集まれ！きよねみんなの広場	対象者：乳幼児から高齢者（三世代交流） 魚釣り、小麦粉粘土、PBボール、お手玉、玉入れ等
昭和	1/9	250人	昭和地区社協子育て支援部会 夢のいち	対象者：子どもからの大人 子どもから大人まで親睦を深め、手作り品のPR等

5. 高齢者福祉事業

(1) 地区給食サービス事業の実施（地区社協主催で実施）

- ・原則年9回実施
- ・実績 延9,235食（上期 4,225食 下期 5,010食）
- ・ボランティア人数 延2,608人（上期1,151人 下期1,457人）

(2) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）

地区社協ごとに4月下旬から11月初旬にかけて実施

対象者： 5,872人（80歳以上）

参加者： 1,478人（参加率25.2%）

地区	開催日		会場	開催内容	対象者	参加者
総社	5/13（日）		総合福祉センター	・演劇「たんぽぽ座」 ・歌・踊り、寸劇	1,544人	157人
常盤	5/13（日）		サンワーク総社	・日本舞踊、民謡 ・らくらく体操	727人	122人
池田	4/29（土）		池田小学校	・スイートピーによる歌と体操・踊り	164人	38人
清音	黒田	9/17（月）	黒田デイサービスセンター	・記念品配布（会場が被災したため記念品配布のみ）	528人	20人
	古地	9/18（火）	古地公会堂	・防災時の心構え ・手遊び ・ビンゴゲーム		10人
	上中島	10/16（火）	サントピア総社岡山	・グラウンドゴルフ ・散策		16人
	柿木	10/5（金）	やま幸	・食事会		32人
	軽部	6/4（月）	清音福祉センター	・わたしの生き方ノート説明 ・脳トレ・歌 ・ロボスターによる音楽		55人
	三因	11/7（木）	兵庫県龍野市揖保乃糸資料館他	・工場見学		12人
	小計					528人
三須	5/22（火）		三須分館（コミュニティハウス）	・園児による演芸 ・大正琴の演奏	351人	50人
服部	4/26（木）		食事処「前田」	・幼稚園児の演芸 ・包括による体操	217人	67人
阿曾	5/12（土）		阿曾小学校体育館	・大正琴、舞踊 ・銭太鼓、体操 ・成羽子ども神楽	341人	87人
山手	9/11（日）		・各戸へ訪問（災害により山手公民館が利用できない為）	・見守り活動も含めて、各戸へ記念品をお渡しする	367人	316人（※訪問）

秦	4/28 (土)	サントピア岡山総社	・サンドフォーwithマサミにおける演奏と歌謡 ・参加者全員による合唱 ・カラオケ	223人	84人
神在	5/20 (日)	サントピア岡山総社	・神在小の合唱と合奏 ・琴、尺八の演奏 ・安来節、傘踊り合唱など	174人	57人
久代	5/13 (日)	久代分館	・大正琴 ・マジック ・消費生活トラブル防止(寸劇)	341人	98人
山田	4/29 (日)	山田分館	・大正琴、民謡 ・特殊詐欺寸劇	98人	35人
新本	5/6 (日)	新本小学校	・大正琴、詩吟 ・スイートピーによるコーラス	200人	31人
昭和	5/20 (日)	昭和中学校	・備中神楽(こども神楽)	597人	191人
計				5,872人	1,478人

(3) 高齢者等団体(老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会)の支援

① いきいきシニア総社(総社市老人クラブ連合会)

- ・60クラブ 3,530人
- ・主な事業: 総会、研修会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク講習会、ペタンク大会、女性委員会主催行事

② 松寿会(ひとり暮らし高齢者の会)

- ・対象: 市内在住で65歳以上の一人暮らしの方
- ・会員: 90人
- ・内容: 総会、交流会、移動研修、講演会、役員会

③ 総社介護者の会

- ・対象: 身体に不自由な方等を介護している方、介護体験者等
- ・会員: 32人
- ・内容: 総会、茶話会、研修旅行、料理教室、役員会

(4) そうじゃ60歳からの人生設計所（生涯現役促進事業）の設置運営

高齢者の就労や創業、社会参加等の希望を相談できるワンストップ窓口です。

業務内容、就労時間、雇用形態などひとりひとりにあった働き方をハローワーク、シルバー人材センターなどの関係機関と連携しながらマッチングするお手伝いや高齢者雇い入れ企業の開拓を行なっています。また、ボランティアなどの地域・社会参加活動の情報提供も行なっています。

○実績

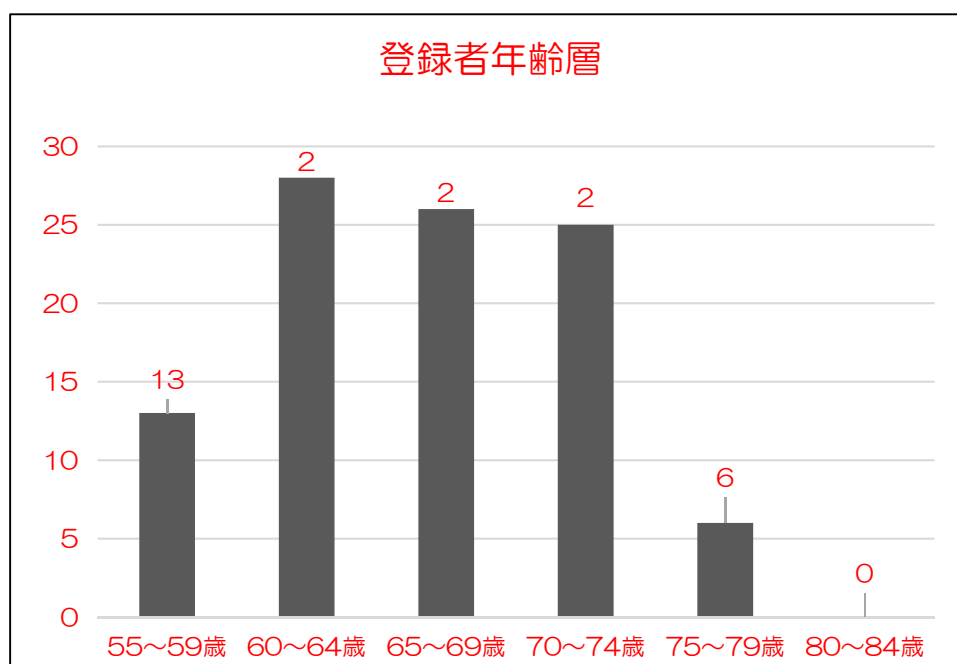
- ・相談延件数 2,234件
- ・実相談者数 110人（うち登録者98人 男：38人 女：60人）
- ・年齢 55歳～81歳
（平均年齢 65.5歳）
- ・就労者数 95人

【主な就職先】

食品製造業、清掃業、小売業、サービス業など

【主な地域・社会参加活動】

生花講師、各種養成講座への参加、学習支援事業「ワンステップ」、にこにこサポーターなど



6. 障がい者福祉事業

(1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営

① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）

基幹相談支援センターは、地域における障がい者相談支援の中核的な役割を担う機関です。

(相談支援を利用している障がい者等) (人)

	実人員	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
障がい児	132	7	31	2	58	0	1	53
障がい者	256	74	76	69	54	2	1	28
計	388	81	107	71	112	2	2	81

(相談支援方法) 合計 3,313 件 (件)

	訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他	
相談者数	251	340	39	1,269	23	105	954	55	
内 訳 ※ 重 複 あ り	身体	67	38	1	113	11	8	87	8
	知的	39	98	11	185	5	38	231	9
	精神	68	125	25	767	3	23	255	22
	発達	73	95	13	259	2	31	296	7
	高次脳	0	8	1	8	0	1	12	0
	難病	3	0	0	0	7	5	14	0
	その他	30	36	2	85	2	18	59	9

② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施

基幹相談支援センターとしては、指定一般相談支援事業者としての地域移行・地域定着支援は実施していません。基幹相談支援センターに求められる役割の一つとして、入所施設や精神科病院等と連携し、障がいのある方の地域移行・地域定着をサポートしています。

(2) 発達障がい者支援体制整備事業

① 発達障がい者支援ネットワークの構築

発達障がい者支援体制整備事業は、総社市における発達障がい者（児）について、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図り、発達障がい者（児）の福祉の向上を図ることを目的としています。

総社市では、発達障がい支援コーディネーターを基幹相談支援センターに配置し、障がいに関するワンストップの相談窓口を設置しています。基幹相談支援センターは総社市地域自立支援協議会事務局を担っており、相談者個人の問題とするのではなく、広く総社市の地域課題として、行政をはじめとする関係機関と協議していく体制を構築しています。障がい者千人雇用センターとの連携を含め、学校卒業後も見据えた、生涯にわたる一貫した支援を提供する体制を整備していきます。

○ 相談支援実数194人（延1,324件）

- ・ 児童114人（うち 未診断・未確認56人、知的障がいを伴う23人）
- ・ 成人 80人（うち 未診断・未確認26人、知的障がいを伴う44人）

（相談支援方法） 計 1,053 件

（件）

訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
103	168	14	591	5	61	365	17

○ 関係者の研修・その他の取組等

（主催の講座・研修等）

- ・ 総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会研修会
『きょうだい支援について考えよう』
5月30日（水）「きょうだい支援ってなあに？」
6月20日（水）「教えて！きょうだいの気持ち」
講師：小田桐 早苗 氏（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 講師）
- ・ 総社市地域自立支援協議会 実務担当者会議＋療育支援事業所連絡会研修会
9月21日（金）「アセスメントから実際の支援へ そして家庭生活へ」
講師：中山 清司 氏（自閉症 e サービス代表）
- ・ 3月7日（木）子育て支援の地域における連携を考える会研修会
講演：「生きづらさ」を超えて ～発達障がい当事者の語りから～
講師：福井 豪 氏、コーディネーター 水野 文一朗 氏（岡山高等学院）
情報提供：親の会について
①総社おたまじゃくしの会、②ピュアハート総社、③ライフサポートいちご畑
- ・ 発達障がい支援者養成講座「みんなで学ぼう！発達障がい」（全5回）
講師：重松 孝治 氏（川崎医療短期大学 医療保育科 講師）
申込者：151名、延べ参加者：408名

（コーディネーター派遣等）

- ・ 5月15日（火）第2回 特別支援教育担当者研修会
- ・ 11月21日（水）市民後見人定例研修会
- ・ 12月 5日（水）第1回 ひきこもりサポーターフォローアップ研修
- ・ 12月25日（火）障害児相談支援に関する研修会
- ・ 1月22日（火）、23日（水）岡山県障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修
- ・ 2月14日（木）障がい者差別解消法 総社市職員向け研修会
- ・ 2月15日（金）学校教育課 進路説明会
- ・ 3月 4日（月）ていんくる サポートブックをつくろう
- ・ 3月14日（木）備中保健所 地域生活支援研修会
- ・ 3月15日（金）倉敷まきび支援学校 総社地区 生活・働くを知る会
- ・ 3月28日（木）東備地域自立支援協議会 協議会活動に関する勉強会
- ・ 総社市全国屈指福祉会議 発達障がい児支援部会
- ・ 総社市教育支援委員会委員

- ・ 総社市 4 歳児発達支援事業の相談支援チームとして、市内幼稚園、保育所（園）等を訪問
- ・ 総社市教育支援委員会専門家チームとして、市内小中学校、幼稚園、保育所（園）を訪問
- ・ 総社市内の放課後児童クラブ（1 か所）を定期的に訪問し助言等を行っている（その他）
 - ・ 総社市地域自立支援協議会の事務局を運営している
 - ・ 総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会を開催（年 7 回）
 - ・ 総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会を開催（年 2 回）

② 発達障がい支援者養成講座の開催

自閉症等の発達障がい児（者）の保護者及びその支援に関わる人たちに、専門的知識を提供する機会を設け、発達障がい児（者）の支援に関する専門性を高めることを目的とし開催した。

【発達障がい支援者養成講座】「みんなで学ぼう！発達障がい」
5回開催（11/2・12/7・1/17・2/21・3/8）

場所：総社市総合福祉センター

対象：総社市在住の発達障がい児（者）の保護者及び支援者など

講師：川崎医療短期大学医療保育科 講師 重松孝治 氏

内容：第1回 発達障がいの特性

第2回 個々の子ども理解に応じたアプローチ

第3回 子どもに伝わる伝え方

第4回 子どもからの発信を育てる

第5回 育ちに応じた関わり

申込者数：151人

参加者数：延408人

(3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営

（就労者数：1,043人 ※本センター支援実績含む）

① 障がい者就労支援の推進（就労者数：1,043人）

障がい者千人雇用センターでは、専門職員を配置（千五百人雇用ワーカー3人、ハローワーク職員1人）し、働きたい障がい者と、雇用したい企業との間に入り、きめ細やかな支援を行っています。就職後も職場を訪問し、アフターケアを行っています。

相談件数（延）：4,460件

就職件数：87件・職場実習：59件

○障がい種別（延） (件)

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
405	980	2,980	345	24	9	64

○就労状況（延） (件)

在職中	求職中
2,862	1,598

○相談方法（延） (件)

訪問	来所	電話	e-mail	その他
390	832	2,901	18	319

(4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営

- ① 日中活動支援事業（創作的活動、生産活動、社会との交流促進等の事業を実施）
 地域活動支援センター「ゆうゆう」は、総社市在住で18歳以上の障がいのある方を対象としています。障がいのある方の地域生活を支援するために専任の職員を配置し、日中活動の場の提供、地域交流などの各事業を実施しています。障がいのある方・ご家族にとって住みやすいまちづくりをめざし、当事者主体の活動拠点として事業を行っています。
- ・日中活動利用者 延人数 1,530人 ・登録者数 56人
 - ・日常生活支援事業（利用者のニーズに応じた各種サービスの提供）
 - ・地域交流事業（行事の企画実施）
 - ・広報・啓発事業 ゆうゆう通信の発行（月1回）

- ② 料理教室の開催
 毎月1回、生活の基盤となる食事について、買い物から片づけまでの一連の流れを通して、料理することの楽しさを感じ、自分でできることを増やしていけるよう料理教室を開催しています。また、管理栄養士による栄養に関する指導と料理講習を行っています。

(5) 地域自立支援協議会の運営

- ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営
 総社市では、平成19年3月から「総社市地域自立支援協議会」が設置されており、事務局を総社市障がい者基幹相談支援センターが担っています。
 障がい者福祉の関係機関の情報共有及び連携を図るとともに、障がい者福祉に関する支援システムの構築、生活に必要な社会資源の創出・改善などを協議することで、障がいのある方が総社市で安心して暮らせることを目指して開催しています。
 当事者団体、家族、施設、関係機関、行政関係者など60以上の団体・機関から構成されています。

（地域自立支援協議会開催状況）

- 全体会議 1回開催（6/15）
- 実務担当者会議 2回開催（9/21・3/15）※ 委員向けの研修会として開催
- 運営会議 4回開催（5/18・8/24・11/16・1/18）
- 専門部会・プロジェクトチーム・連絡会

No	専門部会名	開催回数
1	住まいを考える部会	6回
2	地域生活支援拠点等検討プロジェクトチーム	1回
3	ハートフルそうじゃ実行委員会	11回
4	相談支援事業所連絡会	6回
5	こどもに寄り添う連絡会	5回
6	日中活動事業所連絡会	3回
7	日中一時支援事業所連絡会	1回
8	療育支援事業所連絡会	1回

○障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）の開催（12月1日）

障がい者週間にあわせて実行委員会形式で開催（参加者約400人）

○地域自立支援協議会研修会（実務担当者会議）

- 9月21日 アセスメントから実際の支援へ そして家庭生活へ
 講師：自閉症 e サービス 代表 中山 清司 氏
 ※療育支援事業所連絡会との合同開催
- 3月15日 障害者の「働く」を考えるー私たちに何ができるかー
 講師：元厚生労働事務次官・
 総社市障がい者千五百人雇用委員会名誉顧問 村木 厚子 氏
 ※障がい者千五百人雇用委員会との合同開催
- こどもに寄り添う連絡会研修会『きょうだい支援について考えよう』
 5月30日（水）「きょうだい支援ってなあに？」
 6月20日（水）「教えて！きょうだいの気持ち」
 講師：川崎医療福祉大学医療福祉学部 小田桐 早苗 氏
- 日中活動事業所連絡会 事業所説明会（6/9）
- 岡山県自立支援協議会事務局連絡会 2回開催（9/18・2/25）
- 備中圏域自立支援協議会連絡会 2回開催（8/31・2/7）

（6）障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）の開催

障がい者福祉をより重層的・包括的に実践していくためには、当事者、家族、住民、ボランティア、医療・福祉関係者、行政等が更に連携して支援システムづくりを推進する必要があります。そこで、本フォーラムを契機として、障がいのある方が地域で安心して暮らせるまちづくりの推進を目指し、障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）を「障がい者週間」にあわせて開催しています。

テーマ：ハートフルそうじゃ ～ささえ愛のまち そうじゃ～

日 時：平成30年12月1日（土）13：00～16：00

会 場：総社市総合福祉センター・総社市保健センター

参加者：約400人

内容・日程

（3階）

開会式（オープニングセレモニー）

あいさつ 総社市長 片岡 聡一

総社市地域自立支援協議会ハートフルそうじゃ実行委員会

実行委員長 森田 宏之

“あそびのきちおひさま”による歌や踊りの発表

“アンダンテ”による歌の発表

チュッピー体操「みんなでカラダを動かそう♪～チュッピーでハッピー～」

講演会「大規模災害に学ぶ障がい者支援～支え愛・学ぼう・備えよう～」

講師：被災障害者支援 特定非営利活動法人 ゆめ風基金

総社市自立支援協議会よりゆめ風基金へ感謝状贈呈

（2階）

販売・カフェコーナー

福祉施設・事業所等の飲食物等の販売・飲食スペース

コラボごはん（福祉事業所で作った野菜などを使って、料理をふるまう）

体験コーナー（要約筆記・点訳体験・手話体験）

福祉事業所による寄せ植えワークショップ

「療育」ってなあに？

防災コーナー（防災グッズ・非常食等の展示、復興ギャラリー）

プレイゾーン（オセロ・ボウリング・輪投げなど）

（1 階）

販売コーナー

（7）障がい者（児）団体の支援

障がい者（児）団体に対し、団体の活動に関する情報提供や要望に応じて助言しています。また、事務局や運営委員の一員としての役割を担うなど、団体の活動をサポートしています。

- ・総社市インクルージョン推進事業協議会
- ・総社市身体障害者福祉協会

7. 権利擁護事業の設置運営

(1) 権利擁護センター“しえん”の設置運営

① 虐待防止対策事業の実施

行政や関係機関と連携して「高齢者虐待」「障がい者虐待」「児童虐待」「DV」に対応。

・相談実績

	高齢者虐待	障がい者虐待	児童虐待	DV
実数	54人	9人	1人	6人
延対応数	1,578件	146件	3件	26件
平均対応数	29.2件	16.2件	3件	4.3件

・高齢者虐待防止研修会（新規）（2月7日）

内 容：講義「高齢者虐待防止のためにケアマネが果たす役割」

講師：岡山パブリック法律事務所 副所長 尾崎 力弥 氏

対 象：居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターの介護支援専門員、高齢者虐待防止に関心のある方、等

参加者：38名

② 成年後見支援事業の実施

市民や支援者からの成年後見制度における相談に対応した。

実数：70人 延対応数：1,269件 平均対応数：18.1件

③ 入院・入居支援事業の実施

賃貸住宅等への入居に関する契約等の困難に対応するため支援を行った。

・相談実績 実数：9人 延対応数：148件 平均対応数：16.4件

④ 犯罪被害者支援

犯罪被害にあった方への支援を関係機関と連携して行った。

・相談実績 なし

・犯罪被害者支援フォーラム（2月5日）の開催

講演「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」

講師：特定非営利活動法人 おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ

理事 市原 千代子 氏

対象：一般市民

参加者：22名

(2) 権利擁護センター運営委員会の開催

① 運営委員会の開催

権利擁護センター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に開催した。

日程	内容
4月26日	平成29年度権利擁護センター実績報告について 市民後見人登録選考委員会からの報告及び総社市への答申につい

	て 平成 30 年度権利擁護センター事業計画（案）について
9月27日	平成 30 年度市民後見人養成事業について 後見等候補者の受任者調整について
12月25日	中核機関の設置について
3月26日	市民後見人登録審査会の委員選出について 市民後見人の報酬について ワーキンググループからの報告について 中核機関の設置について 平成 31 年度権利擁護センター事業計画（案）について

② 支援検討委員会の開催

個別事例の支援調整、困難事例の検討、事例を通じた研修を実施した。

日程	内容
4月26日	検討事例状況報告
5月17日	事例検討（2件） 検討事例状況報告
6月20日	市民後見人の総社市社協との複数後見案件について 成年後見制度に係る市長の審判請求における要請書について 検討事例状況報告
8月23日	事例研究（4件） 総社市市民後見人養成研修 受講者面接の委員選出について 検討事例状況報告
9月27日	事例検討（1件） 検討事例状況報告
10月18日	事例検討（2件） 検討事例状況報告
11月22日	検討事例状況報告
12月25日	事例検討（1件） 検討事例状況報告
1月24日	事例検討（2件） 検討事例状況報告
2月19日	事例検討（1件） 検討事例状況報告

③ ワーキンググループの開催

権利擁護課題の解決に向けて、ワーキンググループを設置し、調査、研究を行った。

- ・高齢者虐待対応評価ワーキンググループ

日程	内容
2月15日	総社市における高齢者虐待の対応について 高齢者虐待対応の中での課題について 今後のスケジュールについて

・成年後見制度利用促進ワーキンググループ（新規）

日程	内容
9月6日	各分野からの情報提供 成年後見制度に関する相談体制及び相談実績について 成年後見制度利用促進基本計画や中核機関の方針について 成年後見制度利用促進における課題について 今年度のWGの計画について
11月15日	課題の整理について 中核機関の設置について 受任者調整のしくみの見直しについて
2月25日	中核機関の設置について 受任者調整のしくみの見直しについて 今後の本ワーキンググループについて

（3）成年後見制度に関する啓発事業の実施

成年後見制度や市民後見人の活動の理解と周知・啓発を目的に、成年後見セミナー及び市民後見人養成研修の説明会を開催。また、成年後見制度無料相談会を実施した。

① 成年後見セミナー及び市民後見人養成研修説明会

内 容：講演「成年後見制度基礎講座」

講師：平田真也司法書士事務所 司法書士 平田 真也 氏

実施日：平成 30 年 12 月 13 日

受講者：27 名

・市民後見人養成研修説明会は、発災の為、申込者 1 名に対し、個別に開催。

② 成年後見制度無料相談会

成年後見制度に関する相談に弁護士と社会福祉士が対応する。（予約制）

実施日：毎月第 2 木曜日 14：00～16：00

（4）市民後見人養成事業の実施

市内で市民後見人として活動いただける方を養成することを目的に開催。今年度は 1 人が次の研修を受講し修了した。

① 岡山県市民後見人養成講座

平成 30 年 10 月 22 日～12 月 3 日の 7 日間で、成年後見制度や市民後見人活動の基礎的内容について、知識・技術を習得していただいた。

② 総社市市民後見人養成研修

総社市における地域福祉の取組、市民後見概論や専門的な関係制度・民法の基礎事項を行政や弁護士・司法書士等を講師として研修会を実施し、受講いただいた。

実施日：平成 31 年 1 月 9 日～2 月 27 日の 4 日間

現場実習（施設見学・後見人同行）

③ 法人後見支援員・生活支援員養成講座（新規）

総社市市民後見人養成研修の一部を兼ねて開催。

実施日：平成31年1月9日、1月23日、施設見学実習

受講者：10名

(5) 市民後見人フォローアップ事業の実施

① 市民後見人定例研修会

市民後見人登録者18人を対象に、成年後見業務に関する知識や技術の向上を目的に奇数月第3水曜日に開催した。

日程	内容
5月16日	本年度の研修会の内容について
7月18日	介護保険制度について（豪雨災害のため中止）
9月19日	市民後見人活動報告
11月21日	障がいの理解と関わり方について
1月16日	市民後見人活動報告
3月20日	「対人関係を円滑にするコミュニケーション～聴く・話す・書く」

② ネットワーク連絡会（そうじゃ権利擁護ねっと）の開催

専門職同士（医療・福祉・司法）のネットワーク構築のため、権利擁護に関する勉強会や意見後見を行った。

・第4回（1月25日）参加者：13人

・参加職種：弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、行政書士、看護師、介護支援専門員、相談支援専門員、市民後見人

③ 受任後のフォローアップ

市民後見人定例研修会と兼ねて実施。また、定例訪問日などに支援の方針などを話し合った。

④ 市主催の市民後見人養成研修会への参加

市民後見人養成研修（市独自研修）へ現任の市民後見人も受講。知識や技術のフォローアップの機会を提供した。

(6) 市長申立て事務の実施

総社市が行う成年後見制度の市長申立てにおいて、担当部署と連携し、申立て書などを権利擁護センターが作成した。

実績：2件（申立て準備中含む）

(7) ミニなんでも相談会の開催

市民が、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについての質問や相談をし、権利擁護センター運営委員である、弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職が対応した。また、この相談会を通じて支援につながるきっかけ作りとした。

- ・第1回（2月8日）相談者：5人

(8) 弁護士による専門職向け法律相談の実施

① 弁護士による専門職向け法律相談の実施

専門職を対象に総社市権利擁護センター所属の小田弘昭弁護士が、専門職がケースの中で法律的な対応が必要な場合に助言等を行った。

- ・相談者数：16人
- ・相談事例
 - 身寄りのない方が亡くなり、市が埋葬等を行うことになったが、調査すると実子や兄弟がいることが分かった。親族に市から連絡をとったが関わりを拒否されたが、市として相続等に対応する必要があるか。
 - 家のリフォーム工事で知り合った人にお金を何度も送金している。地域包括支援センターが関わり相談に乗っているが、知人から電話がかかると送金がやめられない。どう対応したらいいか。

② 法律ミニ講座の開催

市民や専門職に法律の正しい知識を身に着けることを目的に開催した。

総社市権利擁護センター所属の小田弘昭弁護士により、次のとおり開催した。

日程	内容	参加者
6月28日	借金問題～借金で困ったときは？生活を立て直すには？～	12人
7月26日	消費者問題～悪徳商法から身を守る方法～	中止
8月23日	離婚問題①～離婚するには？子どもはどうなる？～	9人
9月27日	離婚問題②～財産分与や慰謝料の基礎知識～	11人
10月25日	交通事故～被害者や加害者になってしまったら～	10人
11月22日	インターネットトラブル～便利さの陰にひそむ危険～	13人
12月20日	相続①～もめないための遺言～	17人
1月24日	相続②～知っておきたい、遺産分割の基本～	24人
2月28日	葬儀・お墓の問題～よくあるトラブルと対処法～	20人
3月28日	成年後見制度～家族が認知症になってしまったら～	16人

(9) 高齢者虐待防止研修会の実施

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」の趣旨を理解するとともに、高齢者虐待防止に向けた基本的視点を学習することを目的に開催。

内 容：講義「高齢者虐待防止のためにケアマネが果たす役割」

講師：岡山パブリック法律事務所 副所長 尾崎 力弥 氏
対 象：居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターの介護支援専門員、高齢者
虐待防止に関心のある方、等
参加者：38名

(10) 障がい者虐待防止研修会の実施

実施なし。

(11) 日常生活自立支援事業の実施

- ① 日常生活自立支援事業の実施
 - ・平成30年度 利用者数：14人（内準備中1人）
- ② 生活支援員による援助の実施
 - ・平成30年度 生活支援員登録者数：12人（内11人が活動中）

(12) 法人後見事業の実施

- ① 法人後見事業の実施
 - ・受任件数 12件（後見5件、保佐6件、補助1件）
- ② 市民後見人による後見業務の実施
 - ・市民後見人登録者 18人（内 9人が活動中。複数後見4人、法人後見支援員5人）

8. 生活困窮者支援事業

(1) 生活困窮支援センターの設置運営

① 自立相談支援事業

相談者が抱える問題について応じ、必要な情報提供や助言を行ったり、支援プランを作成して生活困窮者の自立の促進を行った。

- ・相談者数：172人
- ・延相談件数：4,748件
- ・一人あたりの支援回数：27回

② 家計相談支援事業

相談者が自らの家計の状況に気づき、それを理解した上で、そこから見える課題を把握して家計の再生に向けた具体的な方針を立てて、相談者が自ら家計管理できるよう支援を行った。（自立相談支援事業の相談者と重複）

- ・プラン作成件数：20件

③ 家計相談会

また、将来設計や節約のポイントについて、専門的なアドバイスを受けるため、ファイナンシャル・プランナーによる家計相談会を行った。

- ・実施回数：年間6回
- ・相談者数：延7人

④ 支援調整会議の開催

相談者の目指す姿（目標）や、目標の実現に向けて相談者が取り組むこと、支援内容等について、支援計画としてまとめたものが、課題解決に向けた内容となっているか、サービス提供者は適切か、などについて関係者間で協議し、また、サービス提供者が認識を共有するための場として開催した。

- ・開催回数：9回
- ・プラン作成件数：28件
- ・終了件数：7件

(2) 学習等支援事業「ワンステップ」の実施

生活困窮世帯の子どもを対象に学習支援や進路などの相談できる場を提供した。また、学習を教える大学生や教員OB・OG等との交流により子どもたちの将来を育てる場など子どもたちの居場所としても機能した。

① 学習支援（中高生版）

参加中学生数：8人（1年生：1人 2年生：3人 3年生：4人）

参加高校生数：8人（1年生：6人 2年生：1人 3年生：1人）

参加大学生：52人（岡山大学生：5人 県立大学生：45人 吉備国際大学：2人）

地域の協力：2人（教員・塾講師のOB・OG）

実施回数：78回（火曜日と金曜日に実施）

② 学習支援（小学生版）

NPO 法人保育サポート「あい・あい」に委託して実施

参加小学生数：4人（5年生：2人 6年生：2人）

サポーター：8人

実施回数：42回

③ 振り返り及び成果報告会

時期：平成30年6月26日、10月13日、平成31年1月19日、2月17日

会場：総社市総合福祉センター、岡山大学

参加者：岡山大学生、岡山県立大学生及び吉備国際大学

内容：大学生の学習支援における課題を共有し、解決策を話し合う。また、本事業の改善点も検討した。

④ オープンキャンパスへの参加

時期：平成30年8月10日

会場：岡山大学（岡山市）

対象：ワンステップ参加生徒の希望者

内容：生徒が大学のオープンキャンパスに参加し、大学生が生徒を案内し、大学内を見学した。

⑤ 社会文化プログラム

実施無し

⑥ 職業人の話を聞く会

実施無し

(3) 食糧支援に関する事業の実施

食糧ロスの削減、食育の機会を図るとともに、地域住民の方からの寄付、フードバンク、順正学園、コープなど関係機関と連携、協働し、生活困窮世帯等へ生活の改善、自立につながる食糧支援を実施した。

また、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会及びコープと協働し、1回のフードドライブを実施しました。自宅や会社等で余っている食糧を持ち寄っていただき、支援に活用すると共に、活動を通じて生活困窮者支援活動の周知を図ることができた。

(4) 子ども食堂支援事業の実施

子ども食堂の開設や興味のある方を対象にネットワークづくりを行い、こども食堂開

設に向けての支援を行った。

① 子ども食堂連絡会

実施日：平成 30 年 11 月 28 日

参加者：市内で子ども食堂を運営している代表者（3 か所）

内 容：子ども食堂を運営について、実施内容を報告し、抱えている疑問や課題を話し合った。

② 新しい子ども食堂の開設を支援する。

子ども食堂	初回開催日	場所	頻度
そうじゃ食堂 くうねるあそび	平成 29 年 11 月 12 日	コープ東総社 2階会議室・調理室	月 1 回 日曜日
こどもびれっじ	平成 30 年 7 月 27 日	ケアビレッジ総社	不定期
ときわ にこにこ食堂	平成 30 年 8 月 25 日	常盤分館	月 1 回 土曜日か日曜日

(5) 生活困窮支援センター協議会の開催

① 協議会及び常任委員会の開催

生活困窮支援センターの運営に関し必要な事項を審議した。

・第 1 回協議会（6 月 5 日）

平成 30 年度事業計画について

困難事例の報告について

・第 2 回協議会（2 月 21 日）

総社市生活困窮支援センターの中間報告について

平成 31 年度事業計画について

② ワーキンググループ（WG）の開催

生活困窮支援センター事業について調査研究又は審議するため、協議会内にワーキンググループを設置し協議した。

・生活支援物資に関する WG

開催回数：2 回（11 月 7 日・2 月 14 日）

内容：フードドライブの実施について

セブンイレブンからの物資提供について

・子どもの貧困等に関する WG

開催回数：2 回（10 月 16 日・2 月 19 日）

内容：ワンステップの実施について（小学生版・中高生版）

ワンステップ（小学生版）対象者拡大について

ワンステップ学生ボランティアについて

こどもの居場所について

・就労支援に関する調査・研修 WG

開催回数：1回（3月19日）

内容：生活困窮支援センター及びひきこもり支援センター利用者の社会資源開発
平成31年度の検討事項について

(6) 一時生活場所の確保の実施

派遣契約の解除による社宅の退去や、賃貸住宅契約の退去事項に抵触し、退去になった方等へ、次の居住先の確定までの間、「ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）」の協力を得て、一時生活場所の提供を行った。

実施社会福祉法人：吉備路の会、超寿会、ももその学園

受け入れ期間：3日～1か月

受け入れ件数：4件

9. ひきこもり支援事業

(1) ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置・運営

① ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の設置運営

「ひきこもり」に関する相談支援を行うためのワンストップ相談窓口として、来所相談、訪問相談、電話相談、e-mailでの相談等、様々な手段で当事者及び家族等の相談支援を行った。

【相談実績】

- ・延相談件数 2, 329件
(訪問 518件、来所 855件、電話 766件、e-mail 190件)
- ・実相談者数 195人 (うち、新規 91人)
(男性140人、71.8%、女性54人、27.7%)
(本人接触66人、家族接触71人、関係機関のみ58人)
- ・社会参加実人数 19人
(ボランティア体験5人、就労5人、短期就労3人、福祉的就労2人、進学3人、復学1人、地区社協など行事への参加1人)

(2) ひきこもり支援等検討委員会

ひきこもり支援センター『ワンタッチ』の運営、事業の計画・推進（支援者の養成、居場所の設置等）、予算の執行、規定の制定等について審議する、ひきこもり支援等検討委員会を開催した。委員会には、より専門的に協議・検討するため、3つのワーキンググループ（支援者養成WG・社会参加WG・事例検討WG）を設置している。

○ひきこもり支援等検討委員会（委員長：西田和弘 岡山大学大学院教授）

日程	内容
第1回 4月6日（金）	■報告事項 ・相談実績・活動実績・ひきこもり家族会の設置について ■協議事項 ・社会参加の定義について ・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃについて ・ひきこもり支援の手引き、ひきこもりサポーター養成テキストの作成について
第2回 6月1日（金）	■報告事項 ・相談実績・活動実績 ・WG進捗状況（社会参加・支援者養成） ■協議事項 ・ひきこもり支援の手引き、ひきこもりサポーター養成テキストの作成について
第3回 10月16日（火）	■報告事項 ・相談実績・活動実績 ・WG進捗状況（支援者養成） ・ひきこもり家族会について ■協議事項 ・「ひきこもり支援・総社のあゆみ～行政と社協の協働体制」の発行について ・ひきこもりサポーター養成テキストの作成について ・次年度事業計画・予算について

<p>第4回 12月18日（火）</p>	<p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談実績・活動実績 ・ひきこもりサポーター養成講座開催について ・総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」について ・「ひきこもり支援・総社のあゆみ～行政と社協の協働体制」の頒布について <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポーター養成テキスト（仮）について ・ひきこもりの定義の修正について ・次年度事業計画の一部修正について ・総社市ひきこもり支援事業実施規程の改正について
<p>第5回 2月20日（水）</p>	<p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国屈指福社会議 ・相談実績・活動実績 ・ひきこもりサポーター養成講座の実施報告について ・総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」について <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりの定義の修正について ・総社市ひきこもり支援事業実施規程の改正について ・居場所運営について ・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃについて

○支援者養成ワーキンググループ（リーダー：周防美智子 岡山県立大学准教授）

日程	内容
<p>第1回 6月20日（水）</p>	<p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポーター“ほっとも”活動報告 <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポーター養成講座 ・ひきこもりサポーターフォローアップ研修

○社会参加ワーキンググループ（リーダー：直島克樹 川崎医療福祉大学講師）

日程	内容
<p>第1回 5月18日（金）</p>	<p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所活動報告 <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加の定義について ・居場所について
<p>第2回 3月19日（火）</p>	<p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所活動報告 <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮支援センター及びひきこもり支援センター利用者の社会資源開発

○事例検討ワーキンググループ（権利擁護センターの支援検討委員会と共同開催）
0件

(3) ひきこもりサポーター養成講座（平成28年度より開催）

地域の方等を対象に、ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やその家族の支え手として居場所づくり・運営等に協力いただけるサポーターを養成するために開催した。

日程	内容
第1回 11月14日（水）	■オリエンテーション 「総社市でのひきこもり支援の取り組み」 講師：岡山県立大学保健福祉学科 准教授 周防 美智子 氏 説明者：岡山県備中保健所、総社市保健福祉部福祉課、総社市社会福祉協議会
第2回 12月19日（水）	■講義 「ひきこもりの理解と支援①～ひきこもりについて知ろう～」 講師：岡山高等学院 副校長 水野 文一郎 氏 説明者：総社市教育委員会 ■グループワーク コーディネーター：総社市社会福祉協議会
第3回 1月26日（土）	■講義 「ひきこもりの理解と支援③～居場所支援について考えよう～」 講師：NPO 法人あかね 代表理事 中山 遼 氏 ■グループワーク コーディネーター：総社市社会福祉協議会
第4回 2月23日（土）	■活動報告 「自分たちができることを考えてみよう」 ・ひきこもりサポーターの活動報告 コーディネーター：岡山県立大学 保健福祉学科 准教授 周防 美智子 氏 発表者：ひきこもりサポーター ■グループワーク コーディネーター：総社市社会福祉協議会

○参加者数

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	男性	女性	参加	申込
第1回	1	0	6	7	2	3	0	5	14	19	21
第2回	1	1	5	6	5	4	0	6	16	22	23
第3回	1	0	4	7	7	2	0	2	19	21	29
第4回	1	0	4	7	7	2	0	2	19	21	30

○登録者数

・61名（内、平成30年度登録者21名）

性別	男	女
人数	15	46

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	5	2	8	12	20	12	2

(4) ひきこもりサポーターフォローアップ研修

ひきこもりサポーターのスキルアップを図ることを目的として、具体的な支援事例の検討や、他のひきこもり支援機関の見学研修等を行った。また、サポーターの活動内容を検討することを目的として、毎月1回ひきこもりサポーター定例ミーティングを開催した。

○ひきこもりサポーターフォローアップ研修

日程	内容	参加
第1回 12月5日(水)	■発達障がいについて 研修：「発達障がいのある方への関わり方」 講師：総社市障がい者基幹相談支援センター センター長 山田 新二 氏 ■グループワーク	14人
第2回 2月2日(土) 2月20日(水)	■フリースペースあかね見学研修 研修：「フリースペースあかねの取り組み」 講師：NPO法人あかね 中山 遼 氏 ■サポーター交流会	11人

○ひきこもりサポーター定例ミーティング

日程	内容	参加
第1回 4月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介・活動報告 ・サポーターの愛称について ・サポーター活動ノートについて 	10人
第2回 5月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所整備 ・愛称「ほっとも」決定 ・居場所当番について 	18人
第3回 6月19日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンタッチ実績報告 ・居場所当番について 	19人
第4回 7月11日(水)	中止	
第5回 8月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほっともの会」設立について(会則制定、会長・副会長選任) 	14人
第6回 9月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所イベント「秋祭り」について ・ゲーム遊び方体験 	17人
第7回 10月26日(金)	居場所イベント「こもりんの宴」	13人
第8回 11月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・こもりんの宴振り返り ・サポーター養成講座について 	12人
第9回 12月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画(クリスマス会、新年会) 	13人
第10回 1月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新年会について ・サポーター養成講座について ・居場所利用者の情報共有 	11人
第11回 2月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座の発表内容について ・意見交換 	12人
第12回 3月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告(ワンタッチ実績、養成講座) ・年間スケジュール ・居場所運営について 	13人

(5) ひきこもりサポーターテキスト（ガイドブック）の作成（新規）

今年度は、【入門編】＋【基礎編】の内容を検討し、作成を進めた。平成31年の夏ごろに完成予定。

(6) ピアサポーター養成講座の実施

「ひきこもり」当事者及び、経験者を対象に、同じ経験をした立場からひきこもり当事者を「居場所」やボランティアの場で支援するサポーターとなることを目指すことを目的としている。本講座は、センター利用者の中から希望する人を対象に実施する。今年度は希望者がいなかったため、開催実績無し。

(7) 居場所「ほっとタッチ」の設置、運営

○常設居場所

ひきこもり状態にある方や生きづらさを抱える方が、ホッと安心して過ごす、家族以外の人と関わる、仲間づくりをする、生活体験をするなど、それぞれの目的で利用できる「安心して、自分らしく過ごせる場所」という目的で、空き家を利用し、常設の居場所「ほっとタッチ」を月曜日～金曜日（祝祭日を除く）15:00～17:00で開所。

また、3月には、暗くなってからでないと外出できない方々が集える機会を「日陰の集い」と称して、夜間イベントを開催しました。

日程	内容	場所
4月10日（火）	お花見（昼食作り、ゲーム等）	ほっとタッチ
10月26日（金）	こもりんの宴（料理、ビンゴゲーム、花植え等）	ほっとタッチ
11月28日（水）	ハートフルそうじゃパネル準備	ほっとタッチ
12月20日（木）	プチクリスマス会（タワーケーキ作りなど）with 家族会	ほっとタッチ
1月30日（水）	こもりんの新年会（柚子味噌作り、昼食（おでん）、DVD視聴、苺の苗植えなど）	ほっとタッチ
2月14日（木）	バレンタインデー（メッセージ付きチョコ配布）	ほっとタッチ
2月27日（水）	お好み焼きパーティー	ほっとタッチ
3月5日（火）	日陰の集いwithNPO法人あかね（餃子作り、大乱闘スマッシュブラザーズ、遊戯王カード等）	ほっとタッチ
3月15日（金）	ホットケーキパーティー	ほっとタッチ

(8) ひきこもり家族会の組織化（新規）

ひきこもり状態にある方の家族（両親・きょうだい・親戚）会の設立を支援するために、ひきこもり家族会が設立された。設立を記念して、居場所“ほっとタッチ”の庭に、レモンの木を記念植樹した。そして、毎月、第3木曜日に居場所“ほっとタッチ”

にて定例開催した。また、家族同士がお互いに励まし合えるような交流会や、ひきこもりについて勉強できるような研修会を開催した。

○ひきこもり家族会設立記念式典
平成30年10月18日（木）

○ひきこもり家族会（会員数：9家族、9名）

日程	内容	参加
準備会第4回 4月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・家族会愛称について ・今後のスケジュール（家族会設立日・運営費・会則）について 	7人
準備会第5回 5月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンタッチの進捗状況について ・今後のスケジュールについて ・茶話会 	4人
準備会第6回 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・設立記念式典について（植樹など） ・茶話会 	7人
第1回 8月16日	ひきこもり家族会“ほっとタッチ”設立 <ul style="list-style-type: none"> ・会則の制定 ・役員選出 ・今後の計画について ・茶話会（七夕会） 	4人
第2回 9月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・設立記念式典について ・茶話会 	6人
第3回 10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・設立記念式典（植樹など） ・茶話会 	6人
第4回 11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告（親亡き後を生きのびる支援の研修） ・茶話会 	8人
第5回 12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告（赤い羽根助成金について） ・茶話会（ここ最近の出来事について） ・プチクリスマス会（当事者・サポーター含む） 	5人
第6回 1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュール立案 ・今年度の講演会について ・茶話会 	7人
移動研修 1月19日	心のふれあい講演会「ひきこもり～これからどうなる8050問題～」	5人
第7回 2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・設立記念講演会について ・会員名簿について ・茶話会（NHK「@おかやま」鑑賞） 	8人
第8回 3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとタッチの会の看板お披露目 ・会員名簿について ・家族会の開催時間について ・茶話会（KHJ深谷氏を交えて） 	10人

○ひきこもり家族会 研修交流会

日程	内容	参加
3月14日(木)	<p>■研修 「ひきこもり家族が孤立しないために」 ～家族だからこそ『できること』、『できないこと』～ 講師：深谷 守貞 氏 (NPO 法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会)</p> <p>■家族交流会</p>	33人

(9) 全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃ（仮称）の開催（新規）
発災の為、来年度へ延期。

(10) 周知啓発活動の実施

ひきこもり当事者やその家族をはじめ、広く一般市民、地域の関係者等へ「ひきこもり」への理解と、「ひきこもり支援センター」が行う「ひきこもり」の相談支援や社会参加支援等について周知啓発を行った。

○啓発方法：市広報誌、社協だより、チラシ、ホームページ、Facebook

10. 在宅福祉サービス事業

(1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施

- ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
 - ・利用者数 延2,139人（月平均178人）
 - ・介護支援専門員 6人
 - ・要介護認定調査 延19人（月平均1.5人）

- ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延885人（月平均74人）
 - ・ホームヘルパー（常勤6人・登録34人）
 - ・援助内容 身体介護、生活援助

介護予防日常生活支援総合事業（ホームヘルパー派遣）

- ・利用者数 延623人（月平均52人）
- ・ホームヘルパー（常勤6人・登録34人）
- ・援助内容 身体介護、生活援助

(2) 障がい福祉サービス事業（相談支援、支援区分認定調査、居宅介護【ホームヘルパー】）の実施

- ① 指定特定相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延677人（月平均56人）
 - ・相談支援専門員5人
- ② 指定障がい児相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延427人（月平均36人）
- ③ 障害支援区分認定調査の実施
 - ・利用者数 延133人（月平均11人）
- ④ 居宅介護事業の実施（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延681人（月平均57人）
 - ・援助内容 身体介護、家事援助、同行援護、相談、助言等
- ⑤ 障がい者（児）移動支援事業の実施（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 2人

(3) 車イス貸出し事業の実施

- ・車いすの貸出し（介護保険外）58件

11. 福祉センター等管理運営事業

(1) 総社市総合福祉センターの管理運営

地域福祉活動の拠点として、福祉団体等への部屋の貸出をするとともに、福祉相談の実施、福祉サービスの提供及び啓発に努めた。

	H30	H29	H28	H27	H26
利用回数	922回	1,303回	1,229回	1,383回	1,234回
利用者数	36,477人	43,623人	42,094人	43,821人	33,816人

※7～10月は災害ボランティアセンター及び復興支援センターの運営に使用

(2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

・やすらぎの家

	H30	H29	H28	H27	H26
利用回数	227回	239回	233回	235回	250回
利用者数	3,977人	4,701人	4,590人	4,913人	4,550人

・さんあいの家

	H30	H29	H28	H27	H26
利用回数	470回	466回	415回	415回	326回
利用者数	6,255人	7,276人	5,767人	5,933人	5,668人

・ひだまりの家

	H30	H29	H28	H27	H26
利用回数	263回	323回	295回	193回	212回
利用者数	6,434人	6,825人	6,830人	6,866人	6,968人

・山手ふれあいセンター

	H30	H29	H28	H27	H26
利用回数	494回	466回	503回	396回	474回
利用者数	6,477人	7,276人	6,993人	4,810人	5,485人

12. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施

① 共同募金実績額 9,937,898円 (H29年 10,046,032円)

地区	戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	協力店募金
総社	2,070,150円		223,500円	168,929円	4,550円
常盤	1,183,700円		102,300円	42,864円	15,203円
池田	215,490円		32,000円	8,186円	
清音	833,560円		72,000円	16,595円	2,955円
三須	364,100円		20,000円	2,460円	8,769円
服部	333,700円		81,000円	43,959円	
阿曾	417,565円		21,000円	5,197円	4,254円
山手	723,210円		60,000円	40,204円	8,198円
秦	332,800円		16,000円	28,847円	74円
神在	202,400円		22,000円	5,769円	
久代	442,690円			20,889円	8,443円
山田	124,600円			1,100円	
新本	231,500円		10,000円	11,323円	1,395円
昭和	534,400円			15,309円	
事務局		68,933円			26,276円
計	8,009,865円	68,933円	659,800円	411,631円	80,117円

地区	イベント募金	個人・バッチ	合計
総社		247,800円	2,714,929円
常盤		7,600円	1,351,667円
池田		800円	256,476円
清音		43,200円	968,310円
三須			395,329円
服部			458,659円
阿曾			448,016円
山手		29,200円	860,812円
秦			377,721円
神在			230,169円
久代		4,000円	476,022円
山田			125,700円
新本			254,218円
昭和		12,000円	561,709円
事務局	20,652円	342,300円	458,161円
計	20,652円	686,900円	9,937,898円

② 歳末たすけあい募金

・募金実績額 64,603円

(2) 平成30年7月豪雨に係る災害支援の実施

平成30年7月豪雨災害における支援として、県共同募金会より支援金をいただく。いただいた支援金は、災害ボランティアセンターの設置・運営に活用した。

(3) 共同募金事業の実施

① 共同募金ポスターコンクールの開催

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象に「みんなで支えあう 明るく住みよい 心豊かな福祉のまちづくり」をイメージするようなポスター作品を募集しました。16作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞が1点、優秀賞が7点選ばれました。運動がスタートした10月1日には、リブ総社店にて授賞式を行い、受賞者には賞状と記念品を贈呈しました。

(4) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

- ・在宅で寝たきりの方（53人）にバスタオルを持参して友愛訪問活動を実施

13. 赤十字事業

(1) 日赤活動資金増強運動の推進

・会員増強運動月間（5月）

（平成30年度会費納入状況）

地区名	会員数	実績額
総社	2,992 件	2,430,900 円
常盤	1,489 件	1,350,500 円
三須	475 件	598,500 円
服部	533 件	525,000 円
阿曾	456 件	424,000 円
池田	353 件	310,500 円
秦	440 件	382,000 円
神在	415 件	346,000 円
久代	746 件	575,060 円
山田	201 件	185,000 円
新本	400 件	338,500 円
昭和	824 件	746,000 円
山手	547 件	573,000 円
清音	980 件	945,550 円
事務局	2 件	103,000 円
計	10,853 件	9,833,510 円

※ 県支部指示目標額7,918,000円に対して、
実績額9,833,510円（124.19%）

H29実績額 9,842,800円（▲9,290円）

(2) 災害救援事業の実施

○平成30年7月豪雨災害における支援活動

- ・被災地における炊き出し支援活動
- ・被災者の把握と支援機関との連絡調整
- ・日赤から災害支援備品の提供及び災害救援車両の配備
（ミストファン3機、低地用扇風機15機、発電機18機
コードリール18個、毛布400枚、軽ワゴン車1台）

○災害被災者の救護

- ・見舞金（総社市地区独自）2件（火災：上林、種井）
- ・救援物資2件（火災：上林、種井）

○災害時のためのハイゼックス等による炊き出し訓練（イベント内含む）

- ・常盤地区防災訓練（3月25日）

(3) 赤十字奉仕団活動の推進及び助成

- ・地域のイベントに参加し日赤活動のPR
- ・地域活動において救護班として参加
- ・地域の災害時の炊き出し訓練に奉仕団員が指導

(4) 赤十字事業普及のための広報活動

○救急法・家庭看護法等の講習会の開催

- | | | |
|--------------|----|-----|
| ・リラクゼーション講習 | 1回 | 30人 |
| ・キズの手当講習 | 1回 | 30人 |
| ・災害支援に関する研修会 | 1回 | 25人 |

14. 災害救援活動、災害救援募金の実施

日本赤十字社及び共同募金会から依頼のあった災害義援金について、指定募金として対応した。

15. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導

○社会福祉援助技術現場実習の受け入れ

- | | |
|-----------|----|
| ・岡山県立大学 | 2人 |
| ・美作大学 | 1人 |
| ・川崎医療福祉大学 | 1人 |

○見学実習

- | | |
|-----------|------------|
| ・川崎医療福祉大学 | 10人（8月30日） |
|-----------|------------|

○社会福祉士養成校での講義等

- | | |
|------------------------|--|
| ・岡山県立大学（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ） | |
|------------------------|--|

○介護福祉士介護実習

- | | |
|-----------|----------------|
| ・中国短期大学 | 1人（10月3日～5日） |
| ・新見公立短期大学 | 1人（10月22日～26日） |

16. 地域福祉巡回車両の贈呈

地域福祉活動並びに平成30年7月豪雨災害支援等を目的に各種団体から、車輛の贈呈をいただく。

- ・丸紅基金社会福祉助成金（三菱 TOWN BOX 1台）
- ・生命保険協会岡山県協会（スズキ アルト 1台）
- ・日本赤十字社岡山県支部（ダイハツ ハイゼットカーゴ 1台）

17. 視察研修等の受入

No	視察研修等受け入れ先	日程
1	神奈川県大和市議会	4月9日
2	埼玉県白岡市議会	5月7日
3	富山県射水市議会	5月16日
4	愛媛県今治市民生委員児童委員協議会	5月22日
5	厚生労働省社会・援護局 地域福祉課	6月7日
6	大阪府和泉市民生委員児童委員協議会	6月28日
7	沖縄県中部圏域雇用促進チーム	7月5日
8	山口県下関市彦島第2民生委員児童委員協議会	10月22日
9	京都府八幡市民生委員児童委員協議会	11月5日
10	愛媛県新居浜市支部	11月21日
11	広島県福山市地域包括支援センター	12月6日
12	美作市田殿地区社会福祉協議会	12月13日
13	香川県高松市太田地区社会福祉協議会	12月20日
14	富山県氷見市・氷見市社会福祉協議会	1月21日
15	大阪府岸和田市社会福祉協議会	1月31日
16	兵庫県篠山市 城東小学校区自治会	2月25日
17	厚生労働省社会・援護局 地域福祉課	3月20日
18	広島県庄原市社会福祉協議会	3月28日

18. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

(外部委員等への就任状況)

No	関連委員等	担当
1	総社市総合計画審議会 委員	風早会長
2	総社市地域公共交通会議 委員	風早会長
3	総社市全国屈指福祉会議 委員	風早会長
4	総社市表彰審査会 委員	風早会長
5	総社市市民憲章を唱和・実践する会 副会長	風早会長
6	総社市民生委員児童委員推薦委員会 会長	風早会長
7	総社市文化振興財団 評議員	風早会長
8	岡山県社会福祉協議会 評議員	風早会長
9	岡山県共同募金会 理事	風早会長
10	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会 副会長	佐野事務局長
11	総社市要保護児童対策地域協議会 副会長	佐野事務局長
12	岡山県社会福祉経営支援委員会 委員	佐野事務局長
13	岡山県地域公益活動推進協議会 委員	佐野事務局長
14	全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会 常任委員 市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会 福祉サービスの質の向上推進委員会	佐野事務局長
15	日本地域福祉学会 第33回大会実行委員	佐野事務局長
16	総社市自殺対策連絡協議会 委員長	中井事務局次長